第２回　地域医療支援病院運営員会　議事録

日時：令和４年８月 26 日(金)　19:30～

場所：内部委員　千葉市立青葉病院　ホールあおば

外部委員　オンライン（ZOOM）

岡崎事務長

それでは定刻となりましたので始めさせていただきます。声の音量大丈夫でしょうか？ 本日はお忙しい中、今年度第２回地域医療支援病院運営委員会にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会進行を務めさせていただきます、事務長の岡崎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは開会に先立ちまして、資料の確認と出席委員等の紹介をさせていただきます。まず、資料についてでございますけれども、事前に送付させていただいております、『地域医療支援病院としての役割を果たす要件の実績報告』、これを使いますので、ご用意の方よろしくお願いいたします。

続きまして、出席及び担当職員の紹介をさせていただきます。まず、外部委員の皆様よりご紹介をいたします。

最初にこの度新たに委員にご就任いただきました、

千葉市医師会副会長の浅井委員でございます。

千葉市歯科医師会会長の斉藤委員でございます。

千葉市薬剤師会会長の日向委員でございます。

千葉県看護協会常任理事の長谷川委員でございます。

わかばクリニック院長の朱委員でございます。

中村内科クリニック院長の中村委員でございます。

ぴあーすクリニック院長のピアス委員でございます。

千葉市保健所長の山口委員でございます。

千葉市保健福祉局医療衛生部長の柿崎委員でございます。

なお千葉市消防局長の白井委員におかれましては、本日欠席のご連絡をいただいております。

続きまして、内部委員及び担当職員をご紹介いたします。

看護部長の久保でございます。

地域連携室長の志鎌でございます。

副看護部長の金子でございます。

医事室長の植草でございます。

地域連携室副室長の中野でございます。

なお、院長の山本につきましては私用により本日欠席となっております。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

では会議の方を早速始めさせていただきますけれども、開会宣言と議事の進行につきましては、地域連携室長の志鎌が進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

志鎌地域連携室長

それでは早速令和４ 年度第２回千葉市立青葉病院、地域医療支援病院運営委員会の方を開催させていただきます。それではまず本日の議題であります、地域医療支援病院としての役割を果たす要件について、地域連携室副室長の中野から説明させていただきます。よろしくお願いします。

中野副室長

地域医療支援病院としての役割を果たす要件の実績報告をさせていただきます。

令和４年４月より令和４年６月のデータの報告をいたします。

1.共同利用の実績です。

病床利用 0 件、共同利用できる高額医療機器及び設備等　CT/MR/骨密度測定器が 11 件、ホールあおばの貸出０件でした。

2.地域医療従事者等に対する研修開催予定です。

実施しているものがまだ多くないので、予定の方をお知らせしているページになります。令和4年5月～10月まで在宅コーディネーター研修会全6回でして、3回開催済となっております。また今月末、8月31日に第17回千葉市医療連携 WEB カンファレンスを開催する予定となっております。以下はご参照ください。

3.患者相談の実績です。

今年度は、社会福祉士が3名、精神保健福祉士が0.5名、看護師が3名で担当しております。入院患者に関して514件、外来患者に対して226件その他943件合計1683件相談の実績がございます。以下は年次推移となっております。内訳ですが、相談内容に関しては施設入所、転院に関わるものが多くなっており、次に自宅退院に関する相談が多くなっております。

4.その他の地域医療支援病院に求められる取り組みについてです。

情報発信に関しては広報紙あおばを6月に発行いたしました。次回12月に発行する予定です。地域連携室の広報誌もえぎをFAXで4回発行しております。

退院調整部門は令和４年度より、社会福祉士が 3 名、精神保健福祉士が 0.5 名、看護師 3 名が配属となっております。精神保健福祉士 0.5 名は成人精神科に所属していた精神保健福祉士が成人精神病棟の方が休床になるのに伴い、精神科の外来業務と連携室の業務を兼任ということで 0.5 名ということでカウントしています。

病院訪問の実績です。令和4年4月から6月までで計7件、院長と地域連携室のスタッフが訪問を行いました。

最後に地域連携に関する診療報酬の算定状況をお知らせいたします。数字の方をご参照ください。以上報告となります。

志鎌地域連携室長

どうもありがとうございました。まだ第1回目からまだ3ヶ月しか経ってないものですから、この 3 ヶ月分のデータということになりますので、若干年度

と比較するのが難しい状況にはなっていますが、今のところ比較的順調に経過してるんではないかなという 3 ヶ月です。

委員の方から何かご質問とかありますでしょうか？一応、事前の質問として、朱委員からの質問を受けておりまして、これはちょっと長期的な展望での質問なんですけども、今後海浜病院が新しい病院に変わるにあたり、青葉病院の診療体制は変更になりますか？っていう非常に大きな質問なんですけども、これは病床数、診療科目、回復期、慢性期っていうその 3 点つきましてのご質問なんですけど、診療科目につきましては、産婦人科と小児科が海浜に統合されるということまでは承知いたしておりますが、病床数、回復期、慢性期等につきましては、また院長が参加している時にですね。改めて報告させていただきたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。

朱委員

はい、わかりました。ありがとうございます。 OK です。

志鎌地域連携室長

多分我々の病院は高齢者にシフトしていくのかなっていう、そういう多分方向にはなっていくだろうと予測しております。どうでしょうか？ 委員の方、他にご質問ありますでしょうか、今日の発表内容につきまして。

中村委員

中村です。よろしいですか？一番トップの共同利用の実績で病床利用、これセミオープンシステムのベッドということだと思うんですが、これは過去にどのくらい利用された実績があるんでしょうか？

中野副室長

利用された実績はないです。

中村委員

　今後もこのシステムは維持していくという方向で、見直して、やめるとか、あるいは改善していくとかそういうことなのか。あるいは地域医療支援病院としてはどうしてもこういうのを置いておかなければいけないとかそういう何かあるのでしょうか。

志鎌地域連携室長

　登録医、医師会を通しての登録医のシステムで、セミオープンシステムが利用できるようになっておりますので、利用者は 0 なんですけども、選択肢としては残しといてもいいのかなっていうふうには私は個人的には思っています。

中村委員

　はい、分かりました。ありがとうございます。

志鎌地域連携室長

　他は何かございますでしょうか。

中村委員

　もう 1 件よろしいですか。在宅患者さんの支援病床ですね、の件ですけれども、最後のページの診療報酬算定状況というところの 3 列がそれに当たるのか？

中野副室長

　はい、下の３列がそれに当たります。

中村委員

　これだけの数と在宅患者さんで登録されているものではないのかな？ 登録患者さんの利用とか、非登録患者さんの利用でこれだけ使われているということ

でよろしいでしょうか？ 私はこのシステムに大分の助けられておりますので、志鎌先生にだいぶお世話になっておりますけれども。

中野副室長

登録されている患者さんの入院は 0 件、この実績でいうと一番下の段になります。登録していただいてる医療機関の中で登録はしてない患者さんなんですけれども、ご紹介いただいた方が 4 名です。登録は一人もしていないですけれども、在宅で見ていって訪問診療などのコストは取っていただいた患者さんを受け入れた方が 23 ということになります。

中村委員

わかりました。在宅はどうしてもいざという時に、後方で支援していただける病院があると助かりますので、引き続きよろしくお願いしたいと思います。

志鎌地域連携室長

在宅医療支援病床も大体 80 人くらい？

中野副室長

もうちょっと少ないと思います。

志鎌地域連携室長

ある程度コンスタントに登録していただけていると思いますので、開業医の先生方も引き続きご利用していただければなぁというふうに考えています。

ということで、いかがでしょうか。もしないようでしたら、令和 2 年年度第 2 回千葉市立青葉病院の地域医療支援病院運営員会をこれで終了させていただきたいと思います。本日はどうもご参加ありがとうございました。また次回 3 ヶ月後よろしくお願いします。最後に事務局からまた連絡がありますので、岡

崎さんよろしくお願いいたします。

岡崎事務長

　はい、お疲れ様でございました。　1点ご連絡申し上げます。今、志鎌の方からも申し上げた通りですね。次回の開催なんですけれども、11 月頃を予定しております。詳細につきましては後日ご連絡をさせていただきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。